



CAPP活動に参加する時に、ボランティアさんが着用するユニフォーム。動物は名前を記入したバンダナを巻いて。

CAPPの3つのアニマルセラピー活動

AAE

Animal Assisted Education

動物介在教育

小学校や幼稚園といった子どもが通う施設を訪問し、動物との正しいふれあい方や命の大切さを学んでもらうための活動。日常であまり動物と接する機会の少ない子ども、次第にふれあえるようになっていきます。



AAT

Animal Assisted Therapy

動物介在療法

人間の医療の現場で、患者の病気の治療を目的に行う、動物を介した補助療法。治療を受ける人によってさまざまな目標が設定されます。医療従事者が中心となり、活動を行います。



AAA

Animal Assisted Activity

動物介在活動

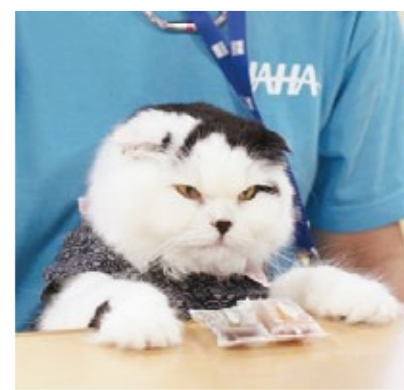
動物とふれあうことで、心が安らいだり、高齢者施設に暮らす人のレクリエーションになったり、生活の質の向上などを目的とした活動。一般的に「アニマルセラピー」と呼ばれる活動の多くがこのタイプです。



CAPP活動が伝えるのは
人と動物の絆

飼い主さんが愛猫との暮らしの中で感じる、愛おしい気持ちやシアワセな気分を、訪問先の人達にも一緒に感じてもらう、それがこの活動の魅力です。この素敵なふれあい活動が実現できるのは、「ヒューマン・アニマル・ボンド(人と動物の絆)」が前提にあるから。多くの人は、動物を見て可愛いと感じたり、触れると心が和んだりします。そして動物も、一緒に過ごすことで人間を信頼し、相手を好きになります。

動物に負担をかけないために、適性があるかどうかも重視しています。そうすることで、活動の中で出会う高齢者さんや子ども達、飼い主さんだけでなく、動物自身も楽しく過ごせる。そう、みんながハッピーになれる活動なんです。



笑顔・元気・優しさを育む 動物との“ふれあい”

人と動物をハッピーの輪でつなぐ、CAPP活動をご紹介します

※CAPP=人と動物のふれあい活動(Companion Animal Partnership Program)

動物が持っている癒しパワーでみんながハッピーに

犬や猫の無邪気な姿を見るだけで心が和みやわらかな毛に触れるとホッとする。そんな動物たちの癒しパワーで、大勢にシアワセを届けるボランティア活動があります。

今回ペイがご紹介するのは、「公益社団法人日本動物病院福祉協会」以下、JAHが取り組んでいる活動のひとつ「CAPP」。人と一緒に暮らす動物が飼い主さんとともに参加する「ふれあい活動」です。日ごろ動物に触れる機会の少ない人に動物と過ごしてもらったり、ホッとしたり元気がわいてきたり、時には病気の治療を目的とした取り組みです。参加動物は犬が多いですが、猫もその癒しパワーを発揮してがんばっています。



CAPP活動 Q&A

Q どんな動物が参加しているの？

猫の種類は問いません。ほかに犬やウサギ、モルモットなどが参加しています。ただし、どの動物も、人見知りをしていない、人が多くても落ち着いて行動できる、飼い主さんの言うことがきける、などの適性が大切。衛生面のケアや健康管理ができていかなるなどの条件もクリアすることが必要です。

Q 愛猫のストレスにならない？

活動中は常に動物の様子を見ながら行うので、もし疲れや変化が見られたら休憩を取るなど、動物がいっしょに楽しくいられるように配慮されています。

適性セルフチェックリストや参加方法はP.17に!





取材にご協力いただいた皆さん



今回は、静岡県沼津市にある「社会福祉法人 春風会・特別養護老人ホームあしたかホーム」でのチーム・サークルノアさんの活動の様子を取材しました。

風太くんがご案内!

CAPP活動レポート

出口さんちの風太くんが、実際に活動した現場にお邪魔しました! 果たして、風太くんの様子は…?

2 活動スタート

訪問先のみなさんも、この日を待ちに待っていた様子。猫は利用者さんの膝に乗ることが多いので、安定感があるようにベッドに入ったまま活動に参加します。優しく話しかける高齢者さんに、風太くんも「こんにちは」。



こんにちは



犬と一緒に活動してるよ

1 事前ミーティング & 健康チェック

集合場所に集まると、獣医師さんによる健康チェック。体調が悪い時はお休みになることも。



活動前の準備は大切だよ

3 終了 & ミーティング

30分間の活動を終えて、動物には「おつかれさま」のオヤツをあげます。最後は飼い主さんの報告会にも参加。おとなしく膝に座って待っています。風太くん、おつかれさま!

今日も楽しかった!



参加されている飼い主さんにインタビュー

猫だってハッピー★ ビックリ、意外!?!なCAPP活動

【サークルノア(静岡県)】所属

出口義雄さん、栄子さん & 風太くん(左)、桃ちゃん(右)



やっぱり猫は犬とは違って活動は難しそう。そんな方も多いことでしょう。CAPP活動に愛猫と参加している飼い主さんの声をお聞きしてみました。

猫が活動できるなんて信じられませんでした

我が家では4頭の猫を飼っていますが、CAPP活動に登録しているのは3頭。今日は、風太と桃の2頭を連れてきました。風太を初めて参加させたのは2007年の12月です。知人から声を掛けていただいたものの、「無理だろうな」と思いながらの参加でした。連れて行ってみると、「一番向いている」と思っていた子よりも、風太や桃が参加できそうなことが発覚!確かに風太は家でも本当におとなしいので、もしかしたらとは思っていましたが、実際に活動する2頭を自分の目で見ると驚きましたね。来て良かった、と思いました。

性格の違う2頭。でも活動中はいつもゴキゲン

風太は活動中の方が堂々としており、家では知らない人が来ると逃げてしまうことも。参加当初はベッドに顔を隠していたのですが、次第に表情を見せるようになり、今では活動前からスイッチが入り、ベッドから顔を上げて自ら会話をしているかのように見つめながら撫でられるようになりました。きつとこの子は、この活動が人の役に立っていることに気づいたんだと思います。すべて自分で学んで、どん



バンダナをつけて、いざ出発!

どんやル気になって。もともとうちの4頭の中でも年長だから、責任感があつたんだと思います。一方の桃は、まったく違います。マイペースなんです。桃も活動中は誰に何をされてもまったく怒りません。自分の仕事みたいにちゃんと割り切って、活動が終わると「もう帰る」と言い出します(笑)。

この活動に参加できて猫生活がさらに充実!

訪問先の高齢者さんには、犬よりも猫が好きの方も。そんな方が猫を見て笑顔になると、同じ猫好きとして本当に嬉しいです。猫って隣にいただけで、安心感があります。風太達もその空気感を共有できるのが嬉しいみたいです。ちなみに風太は眼力が強いので、高齢者さんとの「にらめっこ」が得意です(笑)。この活動って達成感もやりがいも他には無いと思えるくらいあります。とても素晴らしい体験ができるので、みなさんにも参加してほしいですね。

CAPP活動に参加するには

1 JAHAに問い合わせ

近くの活動連絡先や活動予定などをご紹介します。

2 最寄りの活動を見学

実際の活動の様子や施設の人の笑顔にふれてみましょう。

3 動物の参加準備

- ・適性チェック(各チームリーダーに相談)
- ・動物の健康診断書提出

4 活動への参加

愛猫の様子をみながら少しずつ参加します。

お問合せ ☎03-3235-3281 (受付時間/月~金・13:00~17:00)

<http://www.jaha.or.jp>



CAPP適性セルフチェック

- 人間大好き!人見知りしない
- 他の動物たちとも仲良くできる(こわがったり、攻撃したりしない)
- 見慣れないものや、大きな音なども大丈夫
- 健康管理はバッチリ(定期健診、予防)
- 生後8ヵ月以上

すべてクリアしていたら、活動への適性はかなり高いでしょう。チェックの数が少ない場合は、無理に参加することが動物にとってストレスになります。飼い主さんだけの参加も考えてみましょう。

※実際の参加については活動先のチームリーダー、もしくは、JAHA事務局へご相談ください。

CAPP委員長・戸塚先生にインタビュー

CAPP活動を続ける理由って?



みんなの喜びになる経験がたっくさんあるんです

人間には「動物が好き」というDNAが組み込まれており、猫や犬のふわふわ感とぬくもりは人間を安心させてくれます。高齢者さん達にもその影響は大きく、認知症で普段は声かけにも反応しない高齢者さんに「かわいでしょう。」と声をかけたら反応してもらえたことも!ボランティア(飼い主)さんや動物たちもかけがえない経験ができるんです。

これからも動物と一緒に幸せを届けていきたいです

「動物の気質が合うか」判断は難しいかと思いますが、ご興味がありましたら、ぜひ一度JAHA事務局までご相談ください。



戸塚裕久先生
ダクタリ動物病院焼津病院 院長。診療方針としても、「人と動物の絆」を大切にしています。

戸塚先生の愛猫、グーグーちゃん。活動歴約3年のベテランです。